

BARCOS

4月29日付日本経済新聞に記事が掲載されました

2025年5月7日

株式会社バルコス

株式会社バルコス（本社：鳥取県倉吉市、代表取締役社長：山本 敬）は、キャッシュレス化が進行する中でも、財布というカテゴリーに新たな価値を見出し、事業を拡大しております。2025年4月29日付 日本経済新聞にて、弊社の成長戦略に関する取材記事が掲載されました。本記事では、以下の点が紹介されています。

▼キャッシュレス化でも需要がある「財布の機能」

現金の使用頻度が減少する中でも、財布というアイテムの市場価値は依然として健在であると考えます。弊社は、財布を単なる収納ツールではなく、「機能性」にフォーカスし新たな付加価値を創出することで、新しい市場の開拓に取り組んでいます。2023年12月には、折りたたみ式の小型財布『ポンテピッコラ』を発売し、若年層を含めた多くのお客様に支持されました。さらに2024年12月からは、紛失防止機能を搭載した『リトルノ』をラインナップに加え、機能性を一層追求した商品展開を進めております。これらの取り組みにより、2025年12月期の連結純利益は1億6,900万円を見込んでおります。

▼Z世代を中心に支持を獲得

弊社の主な販売チャネルは、テレビの通販番組や新聞・雑誌広告といったマスメディアが中心ですが、近年ではそれらに接触しないZ世代の顧客層も着実に拡大しています。これにより、顧客属性ごとに応じた機能性を重視する商品戦略の展開が可能となってきました。今後は、Z世代をはじめとするデジタル世代への情報発信力をさらに高めるため、グループ会社であるファッションニュース通信社が保有するファッション関連コンテンツの質を強化し、ウェブサイトを通じた発信を拡充してまいります。あわせて、SNSを活用した商品訴求も本格化させ、共感と拡散を生むデジタル戦略を一層推進してまいります。

▼未来へつなぐ挑戦

地方での起業に対する逆風の中、弊社は海外拠点や協力工場との連携を通じて、高収益なビジネスモデルを確立してまいりました。私たちは、この挑戦の積み重ねによって得られた成果を、今後も社員一人ひとりと共有し、企業としての成長とともに、働く意義と誇りを感じられる組織づくりを目指してまいります。

※掲載記事は下記ご参照願います。

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCC246A40U5A420C2000000/>

以上